




令和4年度 秋の花苗・資材等の説明

○球根

		球根	特徴	育て方
1		チューリップ	ユリ科耐寒性秋植え春咲き球根。一重咲きの品種。草丈50cm前後。	根や芽が伸張する期間があるうちの10月頃球根の3倍の深さに植えつける。初夏地上部が枯れたら掘上げ、分球し陰干して風とおしの良い日陰で貯蔵する。
2		クロッカス	アヤメ科耐寒性秋植え春咲き球根。草丈15cm前後。	
3		水仙(黄)	ヒガンバナ科耐寒性秋植え春咲き球根のなかから八重咲・ラッパ咲・房咲の品種。草丈20cm前後。	3~4年は植えっ放しでOK。葉が込み合い、地上部が枯れたら掘上げ、分球して陰干して貯蔵する。
4		スカシユリ (アジアテック ハイブリット)	ユリ科耐寒性強く、強健で育てやすい。草丈50cm前後。	3~4年毎に秋口に掘上げ、子球を分けて乾かさないようにして植え替える。
5		アネモネ	キンポウゲ科耐寒性秋植え春咲き球根。草丈30cm前後。	乾燥しているのので、一晩濡らした紙の上に並べ吸水させ、植付けは深さ1cm程度。初夏に地上部が枯れたら掘上げ、乾燥させて貯蔵する。

○花苗

		花苗	特徴	育て方
1		パンジー	スミレ科耐寒性2年草。雪下で越冬し春遅くまで咲く。大輪系のもの。	秋早めに植付け、寒さに当る前に十分に根を張らせる。日陰や気温が上がると徒長する。
2		ビオラ	パンジーの小輪系で、耐寒性が更に強い。	

○資材・肥料等

	資材/肥料	特徴	使い方
1	プランター (厚手)	プラスチック製の長方形の花用の鉢。	横に広がる花(ペチュニアやインパチェンス)なら2~3鉢。広がらない縦に伸びる花(チューリップやブルーサルビア)なら4~5鉢が標準。
2	苦土石灰 粒状	植物の養分のうち苦土(マグネシウム)と炭酸石灰(カルシウム)を含み、酸性土を矯正する。	消石灰より穏やかに効く。湿気を吸わないので取扱いしやすい。散布したら良く土と馴染ませる。消石灰とも袋の説明により施すこと。
3	培養土	そのまま使えるように混合(ブレンド)した土。	プランターや鉢にそのまま使用する。
4	バーク堆肥	樹皮・せん定枝などを粉碎して発酵させたもの。	
5	化成肥料 8-8-8	植物の3要素NPK(窒素・リン酸・カリウム)が8%ずつ含まれる一般的な肥料。	1㎡当り100gを標準に散布し、良く土と混ぜる。